

各位

会社名 株式会社エーアイ
 代表者名 代表取締役社長 廣飯 伸一
 (コード: 4388 東証グロース)
 問合せ先 執行役員経理グループ統括 前田 忠臣
 (TEL. 03-6801-8402)

2023年3月期 第2四半期(累計) および通期の業績予想の修正
 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日の2022年3月期決算発表時に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日~2022年9月30日)および2023年3月期通期(2022年4月1日~2023年3月31日)の業績予想、並びに配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期第2四半期(累計) 個別業績予想数値の修正 (2022年4月1日~2022年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 383 | 百万円 51 | 百万円 51 | 百万円 36 | 円 銭 7.13 |
| 今回修正予想(B) | 293 | △24 | △23 | △16 | △3.28 |
| 増減額(B-A) | △90 | △75 | △74 | △52 | |
| 増減率(%) | △23.5 | — | — | — | |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期) | 329 | 43 | 40 | 30 | 6.11 |

(2) 2023年3月期通期業績予想の修正 (2022年4月1日~2023年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|------------|------------|------------|------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 800 | 百万円 140 | 百万円 140 | 百万円 100 | 円 銭 19.81 |
| 今回修正予想(B) | 650 | 10 | 10 | 8 | 1.59 |
| 増減額(B-A) | △150 | △130 | △130 | △92 | |
| 増減率(%) | △18.8 | △92.9 | △92.9 | △92.0 | |
| (ご参考) 前期実績 (2022年3月期) | 756 | 112 | 109 | 83 | 16.59 |

(3) 修正の理由

第2四半期累計期間におきましては、第1四半期に引き続き、第2四半期におきましても、「緊急防災・減災事業債」における地方交付税措置が、当初令和2年度までとされていたことに伴い、防災案件が2021年3月期までに集中したことによる反動に加え、新型コロナウイルス等の影響による半導体不足が影響し、防災メーカーの入札控え等により、防災案件の売り上げが低調に推移しました。また、コロナ禍に伴う企業のテレワーク、学校のオンライン授業におけるeラーニング教材・動画等のナレーション作成用途での「AITalk® 声の職人®」、「AITalk® 声プラス®」等のパッケージ製品の需要増加も落ち着きが見られ、計画を下回って推移しました。「AITalk® 声の職人®S」のリリースに伴い、販売記念キャンペーンを実施しましたが、防災案件及びパッケージ製品の不足分をカバーするに至りませんでした。費用面においては、販売促進費の抑制等により当初予定は下回りましたが、売上高が業績予想を下回ったことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益の全てにおいて業績予想を下回る見通しであることから、第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。

2023年3月期通期の業績予想につきましては、半導体不足が徐々に解消されることが見込まれ、防災案件の回復が見込まれますが、上期の不足分をカバーするには至らない見通しであり、また、パッケージ製品についても、上期の状況を勘案し、通期の将来予想の見直しを行いました。また、コンシューマー向け製品についても、「A. I. VOICE®」シリーズの新キャラクターのリリースが一部来期へ後ろ倒しとなる見込みであることから、通期の将来予想の見直しを行いました。

以上より、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて、前回発表予想を下回る見通しとなりましたため、通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

前回発表時のサービス区分別売上予想額と、今回修正時のサービス区分別売上予想額の比較

| サービスの名称 | 前回発表予想 (A) | 今回修正予想 (B) | 増減額 (B-A) | 増減率 (%) |
|-------------------|------------|------------|-----------|---------|
| 法人向け製品 (百万円) | 400 | 280 | △120 | △30.0 |
| 法人向けサービス (百万円) | 200 | 200 | — | — |
| コンシューマー向け製品 (百万円) | 200 | 170 | △30 | △15.0 |
| 合計 (百万円) | 800 | 650 | △150 | △18.8 |

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

| | 年間配当金 (円) | | |
|---------------------------|-----------|-------|-------|
| | 第2四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 前 回 予 想 (2022年5月13日発表) | | 4.00円 | 4.00円 |
| 今 回 修 正 予 想 | | 0.00円 | 0.00円 |
| 当 期 実 績 | 0.00円 | | |
| 前 期 実 績 (2022年3月期) | 0.00円 | 3.50円 | 3.50円 |

(2) 修正の理由

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を行うことであり、安定した配当の実施に努めてまいりました。

しかしながら、2023年3月期（第20期）の剰余金の配当予想につきましては、通期業績予想の修正の通り、非常に厳しい決算となる見込みです。このような状況を受け、誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

（注）上記の期末配当予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上